

牧草用輸入ラップフィルムの 実用性確認試験

JAようてい

鈴木 啓二



グラスwind(試験品)



輸入品と試験品



輸入ラップ(慣行品)

試験目的

牧草用輸入ラップフィルムの実用性確認試験

試験作物 及び品種

牧草

試験資材 及び数量(規格)

グラスwind(0.025mm×500cm×1800m) 2本

慣行資材

輸入ラップ

資材使用期間

6月～翌年5月

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品と比べて問題は無かった。

(2)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：粘着性が強い。価格が安い。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

糊の粘着性について、試験品の方が強く感じた(少なくとも保管期間中の剥がれ等が無かった)。

モニター感想

牧草の保管期間は、翌年5月頃迄なので現在は途中経過であるが、現行品に比べ粘着性が強く、また価格も安いので、次年度も使用したいと思う。

JA担当者の感想(伊藤専任)

ラップフィルムは、機械適正や生産者により好みに分かれるものだが、今回はニューホランドのシングル巻きで使用した結果、粘着性・強度共に慣行品よりも良好で生産者も満足して頂ける結果となった。価格も安いので、5月迄の保管で問題が無ければ、推進していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

粘着性も強く価格も安いので、今後も使用したい。

将来希望する資材について

牧草の使用期間について、短期間ラップして(約1週間)、すぐに使用する牧草もあるので、短期間使用限定で価格の安いラップフィルムを希望する。

1 クリント

2 高温対策

3 害虫忌避効果

4 滑雪効果

5 生分解性マルチ

6 その他

7 酪農資材